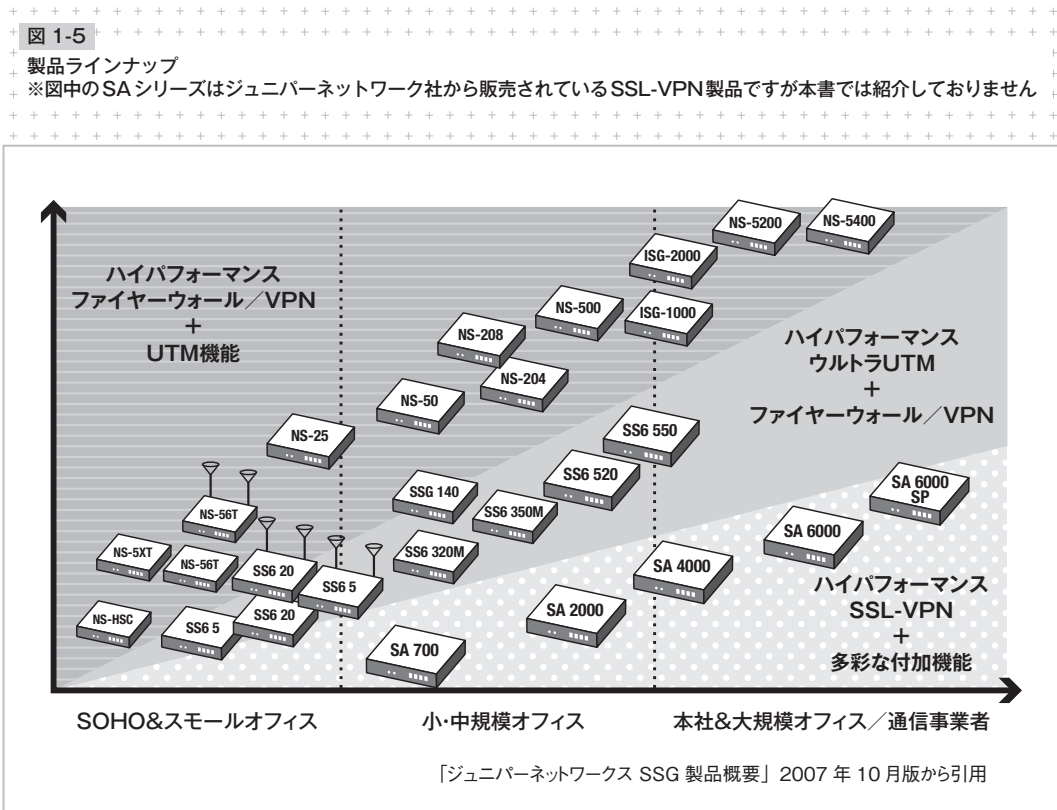


1.5 NetScreen/SSGのラインナップ

このセクションでは,NetScreen/SSGの製品ラインナップを紹介します。
NetScreen/SSGの製品ラインナップを理解するとともに,製品の特徴や機能を理解し,最適な機種選定ができるようにしましょう。

1.5.1 製品ラインナップ

以下に製品ラインナップを紹介します。



製品	固定Ethernet	その他 インターフェース	拡張スロット	同時VPN トンネル	ファイアウォール パフォーマンス (レンジ)	ファイアウォール パフォーマンス (MMX)	IPsecVPN パフォーマンス (AES+SHA-1)	セッション数	HA(アクティブ /アクティブ)	ポリシー数
SSG5 Base/ Extended	10/100BASE-T × 7	ISDN BRI, USB1.1	無	25/40	160Mbps	90Mbps	40Mbps	4,000/8,000	X/○	200
SSG20 Base/ Extended	10/100BASE-T × 5	USB1.1	Mini-PIM × 2	25/40	160Mbps	90Mbps	40Mbps	4,000/8,000	X/○	200
SSG140	10/100/1000BASE-T × 2, 10/100BASE-T × 8	USB1.1	Mini-PIM × 4	125	350Mbps 以上	300Mbps	100Mbps	32,000	○	500
SSG320M	10/100/1000BASE-T × 4	USB1.1 × 2	Mini-PIM × 3	250	450Mbps 以上	400Mbps	175Mbps	48,000	○	750
SSG350M	10/100/1000BASE-T × 4	USB1.1 × 2	Mini-PIM × 5	350	550Mbps 以上	500Mbps	225Mbps	48,000	○	750
SSG520M	10/100/1000BASE-T × 4	USB1.1 × 2	Mini-PIM × 6 (うちePIM対応 × 2)	500	650Mbps 以上	600Mbps	300Mbps	64,000	○	1,000
SSG550M	10/100/1000BASE-T × 4	USB1.1 × 2	Mini-PIM × 6 (うちePIM対応 × 4)	1,000	1Gbps 以上	1Gbps	500Mbps	128,000	○	4,000

表 1-2 SSGのラインナップ
※ ScreenOS 6.0 の場合です。今後、新しいScreenOSのバージョンでは、セッション数などが拡張される予定です

製品	固定Ethernet	その他 インターフェース	同時VPN トンネル	ファイアウォール パフォーマンス (レンジ)	ファイアウォール パフォーマンス (3DES+SHA-1)	セッション数	HA(アクティブ /パッシブ)	HA(アクティブ /アクティブ)	ポリシー数
NetScreen-5GT Base/Extended	10/100BASE-T × 5	アナログモデム	10	75Mbps	20Mbps	2000	X/ HA Lite	X	100
NetScreen-25	10/100BASE-T × 4	コンパクトフラッシュ, アナ ログモデム	125	100Mbps	20Mbps	32000	HA Lite	X	500
NetScreen-50	10/100BASE-T × 4	コンパクトフラッシュ, アナ ログモデム	500	170Mbps	45Mbps	64,000	○	X	1000
Netscreen-204	10/100BASE-T × 4	コンパクトフラッシュ, アナ ログモデム	1000	375Mbps	175Mbps	128,000	○	○	4000
Netscreen-208	10/100BASE-T × 8	コンパクトフラッシュ, アナ ログモデム	1000	375Mbps	175Mbps	128,000	○	○	4000
NetScreen-500	10/100BASE-T × 8 または mini-GBIC (SXまたはLX) × 8, GBIC (SXまたはLX) × 4	PCカード, アナログモデム, 管理用 100BASE-T, HA 用 100BASE-T × 2	5,000	700Mbps	250Mbps	250,000	○	○	20,000

表 1-3 Netscreenのラインナップ

Chapter 1

Chapter 2

Chapter 3

Chapter 4

Chapter 5

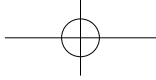
Chapter 6

Chapter 7

Chapter 8

Chapter 9

Appendix



1.5.2 製品の選定方法

これだけ製品が多いと、どの製品を選んだらいいか迷いますよね。製品選定の目安をご紹介しますので、参考にしてください。詳しくは購入先の販売代理店にご相談してください。

+ ポート(インターフェース)数と種別

WAN (Ethernetポート, BRI, シリアル, T1など), DMZ, LANのそれぞれに、いくつのポートが必要かを計算します。拡張スロットにインターフェースを追加搭載することができる機器もあります。

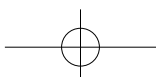
+ 同時VPNトンネル数

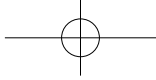
IPsec VPN機能を利用する場合は、何本のIPsec VPNトンネル数が必要かを算出してください。これが選定基準となります。たとえばSSG5のベーシックライセンスでは25トンネル、拡張ライセンスでは40トンネルになります。

+ 冗長構成を組むか

NetScreen/SSGにて冗長構成が必要かということが選定基準となります。コアとなる部分で利用する場合には、可用性を高めることが求められます。そのためには、HA (High Availability: 高可用性)に対応した機種やライセンスが必要になります。

ファイアウォールは企業とインターネットを結ぶ重要な機器ですので、冗長構成にするケースが多いと思います。アクティブ/アクティブ構成が必要か、アクティブ/パッシブ構成で良いかなどによってもライセンスが異なりますので、1つの選定基準となります。



**+ スループット (パフォーマンス)**

スループットには大きく分けて、ファイアウォールスループットとVPNスループットがあります。ファイアウォールスループットは、ラージパケット (1,500バイト) やショートパケット (64バイト) を処理する際の1秒間あたりの処理能力をbps (bit per second) にて表したものです。最近ではIMIX (インターネットミックス) パケットと呼ばれるインターネット上を行き来するさまざまな大きさのパケットを処理する際のスループット値が使用されることもあります。VPNスループットは、暗号化方式として3DES^{*5}やAES^{*6}を使用した際のスループットをbpsにて表します。

+ ポリシー数

規模が大きくなるとポリシーもたくさん必要になります。例えば特定のTCPポートのみを許可したり、特定のセグメントからの通信のみを許可したり、外部から内部への通信は遮断したりとさまざまなポリシーがあります。ポリシー数の上限以上にポリシーを作成することはできません。必要なポリシー数を計算し、ポリシー数に応じた機器を選定する必要があります。

+ 同時セッション数

同時セッション数は、クライアント台数や使用するアプリケーションに応じて選定してください。使用するアプリケーションによって一度に複数のセッションを使用するものもあります。

サポートしている同時セッション数は、たとえばNetScreen-5GTで2,000セッション、NetScreen-25で32,000セッションまたSSG5で4,000セッション、SSG20は8,000セッションになります。クライアント数からセッション数を導くことは状況により異なるため、一概には言えません。2,000セッションの場合、1台あたりのセッションを5と見れば、同時400クライアントとなり、1台あたり20と見れば、同時100台となります。

※ 5 : 3DES
Triple Data Encryption Standardの略。
IBM社によって開発された共通鍵暗号方式で、DESで3回暗号化することにより、暗号化セキュリティを高めている。

※ 6 : AES
Advanced Encryption Standardの略。
DES/3DESよりも強固な次世代共通鍵暗号方式。米国商務省標準技術局 (NIST) が選定。

Chapter 1

Chapter 2

Chapter 3

Chapter 4

Chapter 5

Chapter 6

Chapter 7

Chapter 8

Chapter 9

Appendix

